

健康ちば21（第2次）評価指標進捗管理表

～現状値が更新された36指標について～

傾向：改善傾向21指標、変化なし4指標、悪化傾向11指標

施策	分野	No	目標項目	策定時の値 (H22年)	中間評価時現状値 (H年(年度))	R1年8月現在		目標値 (R4年)	データソース	
						現状値 (H年(年度))	傾向			
総合	総合目標	2	健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小)	男性	2.20	2.25年 (H25年)	2.31年 (H27年)	↓ 悪化傾向	市町村格差の縮小	千葉県算出
総合	総合目標	2	健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小)	女性	2.50	3.11年 (H25年)	3.06年 (H27年)	↑ 改善傾向	市町村格差の縮小	千葉県算出
I	1 栄養・食生活	6	健康ちば協力店登録数の増加		923店舗 (H23年度)	1,013店舗 (H28年度)	964店舗 (H30年度)	↓ 悪化傾向	1,100店舗	栄養改善実績報告
I	1 栄養・食生活	7	利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価改善を実施している特定給食施設の割合の増加	参考値:管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合	84.1% (H23年度)	82.7% (H28年度)	78.5% (H30年度)	↓ 悪化傾向	90.0%	衛生行政報告例
I	6 歯・口腔の健康	4	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		41.5% (H23年度)	45.0% (H28年度)	46.5% (H30年度)	↓ 悪化傾向	25.0%	成人歯科健康診査
I	6 歯・口腔の健康	5	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少		50.2% (H23年度)	53.7% (H28年度)	57.6% (H30年度)	↓ 悪化傾向	45.0%	成人歯科健康診査
I	6 歯・口腔の健康	6	3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加		13市町村 (H23年度)	36市町村 (H28年度)	47市町村 (H30年度)	↑ 改善傾向	54市町村 (H35年度)	3歳児歯科健康診査
I	6 歯・口腔の健康	7	12歳児(中1)の一人平均むし歯数が1.0歯未満である市町村の増加		9市町村 (H23年度)	35市町村 (H28年度)	46市町村 (H30年度)	↑ 改善傾向	54市町村 (H35年度)	児童生徒定期健康診断結果
II	1 こころの健康づくり	1	自殺者の減少(人口10万人当たり)	男性	29.9	23.9 (H28年)	22.3 (H29年)	↑ 改善傾向	18.6 (H39年度)	人口動態統計の概況 (千葉県ホームページ)
II	1 こころの健康づくり		自殺者の減少(人口10万人当たり)	女性	13.4	9.6 (H28年)	10.1 (H29年)	↓ 悪化傾向	7.4 (H39年度)	人口動態統計の概況 (千葉県ホームページ)
II	1 こころの健康づくり	4	自分には良いところがあると思う児童の増加	小学校6年生	75.8% (H24年度)	77.0% (H29年度)	83.1% (H30年度)	↑ 改善傾向	増加へ	全国学力・学習状況調査
II	2 次世代の健康づくり	1	全出生数中の低出生体重児の割合の減少		9.2%	9.2% (H28年度)	8.9% (H29年)	↑ 改善傾向	減少傾向へ	厚生労働省「人口動態統計」
II	2 次世代の健康づくり	3	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加(小学校6年生)		88.6% (H24年度)	86.9% (H29年度)	84.4% (H30年度)	↓ 悪化傾向	100%に近づける	全国学力・学習状況調査
II	2 次世代の健康づくり	8	家の人と学校での出来事について話をする割合の増加	小学校6年生	75.7% (H24年度)	78.6% (H29年度)	80.3% (H30年度)	↑ 改善傾向	増加傾向へ	全国学力・学習状況調査
II	2 次世代の健康づくり	8	家の人と学校での出来事について話をする割合の増加	中学校3年生	66.2% (H24年度)	73.8% (H29年度)	74.5% (H30年度)	↑ 改善傾向	増加傾向へ	全国学力・学習状況調査
II	3 高齢者の健康づくり	1	介護予防に資する住民主体の通いの場へ参加する者の増加		—	37,526人 (H27年度)	52,683人 (H29年度)	↑ 改善傾向	50,000人	介護予防・日常生活支援総合事業 実施状況調査
III	1 がん	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)		79.6 (H23年)	76.3 (H27年)	73.2 (H29年)	↑ 改善傾向	65.7 (H35年度)	厚生労働省 「人口動態特殊報告」
III	1 がん	3	精密検査受診率の向上	胃がん	—	82.4% (H26年度)	84.5% (H27年度)	↑ 改善傾向	90% (H32年度)	地域保健・健康増進事業報告
III	1 がん	3	精密検査受診率の向上	肺がん	—	78.3% (H26年度)	81.2% (H27年度)	↑ 改善傾向	90% (H32年度)	地域保健・健康増進事業報告
III	1 がん	3	精密検査受診率の向上	大腸がん	—	54.8% (H26年度)	58.9% (H27年度)	↑ 改善傾向	90% (H32年度)	地域保健・健康増進事業報告
III	1 がん	3	精密検査受診率の向上	子宮頸がん	—	68.2% (H26年度)	73.4% (H27年度)	↑ 改善傾向	90% (H32年度)	地域保健・健康増進事業報告
III	1 がん	3	精密検査受診率の向上	乳がん	—	88.8% (H26年度)	92.2% (H27年度)	↑ 改善傾向	90% (H32年度)	地域保健・健康増進事業報告

健康ちば21（第2次）評価指標進捗管理表

～現状値が更新された36指標について～

傾向：改善傾向21指標、変化なし4指標、悪化傾向11指標

施策	分野	No	目標項目	策定時の値 (H22年)	中間評価時現状値 (H年(年度))	R1年8月現在		目標値 (R4年)	データソース		
						現状値 (H年(年度))	傾向				
Ⅲ	2 循環器疾患	3	高血圧の改善 (収縮期血圧の中央値の低下)	男性 (40～74歳)	130mmHg (H22年度)	129mmHg (H27年度)	129mmHg (H28年度)	→ 変化なし	126mmHg	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	3	高血圧の改善 (収縮期血圧の中央値の低下)	女性 (40～74歳)	128mmHg (H22年度)	127mmHg (H27年度)	127mmHg (H28年度)	→ 変化なし	124mmHg	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	4	脂質異常症の減少 (LDL-C160mg/dL以上の者)	男性 (40～74歳)	9.2% (H22年度)	9.9% (H27年度)	9.1% (H28年度)	↑ 改善傾向	6.9%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	4	脂質異常症の減少 (LDL-C160mg/dL以上の者)	女性 (40～74歳)	14.3% (H22年度)	15.6% (H27年度)	14.2% (H28年度)	↑ 改善傾向	10.7%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	5	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 (平成20年度と比べて25%減少)	男性 (40～74歳)	43.2% (H22年度)	44.6% (H27年度)	45.7% (H28年度)	↓ 悪化傾向	33.2%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	5	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 (平成20年度と比べて26%減少)	女性 (40～74歳)	15.3% (H22年度)	14.8% (H27年度)	15.1% (H28年度)	↓ 悪化傾向	13.0%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	2 循環器疾患	6	特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	国保	特定健診	35.1% (H22年度)	38.7% (H27年度)	36.6% (H28年度)	↓ 悪化傾向	60.0%	医療費適正化計画進捗状況 (厚生労働省より提供医療費適正化計画評価のために提供されたデータ)
Ⅲ	2 循環器疾患	6	特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	国保	特定保健指導	21.1% (H22年度)	19.2% (H27年度)	19.8% (H28年度)	↑ 改善傾向	60.0%	医療費適正化計画進捗状況 (厚生労働省より提供医療費適正化計画評価のために提供されたデータ)
Ⅲ	2 循環器疾患	6	特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	全体	特定健診	42.2% (H22年度)	52.9% (H27年度)	54.4% (H28年度)	↑ 改善傾向	70% (H35年度)	医療費適正化計画進捗状況 (厚生労働省より提供医療費適正化計画評価のために提供されたデータ)
Ⅲ	2 循環器疾患	6	特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	全体	特定保健指導	14.2% (H22年度)	15.2% (H27年度)	16.4% (H28年度)	↑ 改善傾向	45% (H35年度)	医療費適正化計画進捗状況 (厚生労働省より提供医療費適正化計画評価のために提供されたデータ)
Ⅲ	3 糖尿病	1	合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少		802人	839人 (H27年末)	870人 (H29年末)	↓ 悪化傾向	738人	(一社)日本透析医学会「慢性透析患者に関する基礎調査」*患者調査における年度末患者数	
Ⅲ	3 糖尿病	3	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者)の割合の減少	男性 (40～74歳)	1.6%	1.2% (H27年度)	1.2% (H28年度)	→ 変化なし	1.4%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析	
Ⅲ	3 糖尿病		女性 (40～74歳)	0.7%	0.5% (H27年度)	0.5% (H28年度)	→ 変化なし	0.6%	特定健診・特定保健指導に係るデータ分析		
Ⅳ	つながり	3	健康づくりに関する活動に取り組み自発的に情報発信を行う企業・団体の増加		12団体 (H23年度)	119団体 (H29年10月末)	142団体 (R1年8月末)	↑ 改善傾向	200団体	Smart Life Projectの参画企業・団体数	

平成30年度、全国学力・学習状況調査から質問がなくなった項目

施策	分野	No	目標項目	策定時の値 (H22年)	H30年8月現在	目標値 (R4年)	データソース
Ⅱ	2 次世代の健康づくり	6	月～金の間1日にどれくらいの時間テレビやビデオDVDを見たり聞いたりしますか (3時間以上の者の割合)	42.3% (H24年度)	34.5% (H29年度)	増加を抑制	全国学力・学習状況調査
Ⅱ	2 次世代の健康づくり	7	月～金の間1日にどれくらいの時間テレビゲームをしますか (2時間以上の者の割合)	24.9% (H24年度)	33.1% (H29年度)	増加を抑制	全国学力・学習状況調査